

狂言の形容詞

村田 菜穂子*¹ 前川 武*²

Adjectives in Kyogen

Nahoko Murata*¹ Takeshi Maekawa*²

キーワード

中世後期 近世 形容詞 語彙表 語彙史 狂言

I はじめに

語彙研究および語彙史研究の立場から、これまで上代から中世に亘る日本語形容詞・形容動詞語彙について、〔1〕語構造論および造語論の両観点から分析を行って、一つ一つの語の語構成を記述するとともに、〔2〕当該語彙の史的研究のための基礎資料としてさまざまな語彙表をこれまで作成・公表してきた。^(注1) また、一方では、語彙研究および語彙史研究分野の進展のための有益な資料となるべく、〔1〕および〔2〕の情報を蓄積したデータベースシステムを構築し、本資料を基にコンピュータによる量的データの分析的研究・実証的研究を行い、最終的には、「形容詞の語構成史」および「形容動詞の語構成史」を構築して、従来の研究方法では得られなかった知見を得ることを目標にこれまで研究を進めてきた。^(注2)

中世後期から近世にかけての言語資料については、まず、中世後期の形容詞を概観する資料として、『時代別国語大辞典 室町時代編』と『邦訳 日葡辞書』を取り上げ、同辞典・辞書に採録された形容詞の一覧を作成した。^(注3)

本稿では、引き続き、中世後期から近世初期に用いられた形容詞の使用頻度等について調査すべく、狂言の台本から『天正狂言本』『虎明本』『虎清本』『狂言六義』『狂言記』の5つを取り上げ、どのような形容詞がどの台本にどれくらい使用されているかが一覧できる形式にて対照語彙表を作成した。

II 凡例

〔1〕見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

* 1 むらた なほこ : 大阪国際大学国際コミュニケーション学部教授 (2013.9.27受理)

* 2 まえかわ たけし : 大阪国際大学短期大学部教授

[2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

- ①子音交替形または母音交替形
例：ねむたし⇔ねぶたし (m⇔b)
- ②撥音の表記に関わるもの
例：やごとなし⇔やむごとなし
- ③促音を挿入したもの
例：につくし⇔にくし
- ④その他
例：ゆきがたし⇔いきがたし

[3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞がついた語形は次のように扱った。

- (1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。
例…つきもなし→つきなし、きよくもなし→きよくなし等。
- (2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。
例…せんかたなし→するかたなし等。
- (3) 接頭辞の付いた語の扱い
例…おなごりをし→なごりをし、ごもったいなし→もったいなし
のように、接頭辞を外した語形で採る。

[4] 複合語の扱い

名詞+形容詞（例…よふかし・しふしんふかし）や動詞連用形+形容詞（例…をりがたし・はひりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

[5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの。

[6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であることを示したもの。

[7] 作品ごとの出現数

各見出し語がそれぞれの作品で出現した数を示したものを。表中の作品名は、「はじめに」の下線部で示したもので記した。

[8] 既存の八資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

既存の八資料とは、【上代資料】【訓点資料】【八代集】【中古散文作品】【軍記物語】【今昔物語集】（注1参照）及び『邦訳 日葡辞書』『時代別国語大辞典 室町時代編』を指す。（表中では、下線部で示したもので略記した）

Ⅲ 調査に際して使用した資料

『天正狂言本 本文・索引・研究』^(注4)

『大蔵虎明本狂言集総索引』^(注5)

『大蔵虎明本狂言集の研究 本文篇』^(注6) 上・中・下

『国語国文学研究史大成 8 謡曲狂言』^(注7)

『狂言六義総索引』^(注8)

『狂言六義全注』^(注9)

『狂言記の研究 解説篇・翻字篇・索引篇』^(注10)

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成25-27年科学研究費補助金（基盤研究（C）、課題番号13251668）による研究成果の一部である。

注1 これまでに作成・公表した語彙表を、対象とした作品および作品群（【 】で囲んだもの、以下同じ）毎に示す。なお、各作品群に含まれる作品は次のとおりである。

【上代資料】

『時代別国語大辞典上代編』に立項されている形容詞のうち、東歌・防人歌に使われている東国語方言の語や複合形容詞中にのみその存在が確認される語を除き、万葉集・古事記（仮名書き部分）・日本書紀（同）・風土記（同）・続日本紀宣命・祝詞に用例のあるものを上代形容詞として認めた。

【中古散文作品】

『竹取物語』『土佐日記』『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』『多武峯少将物語』『篁物語』『宇津保物語』『蜻蛉日記』『落窪物語』『和泉式部日記』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『堤中納言物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『更級日記』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』

【八代集】

『古今集』『後撰集』『拾遺集』『後拾遺集』『金葉集』『詞花集』『千載集』『新古今集』

【訓点資料】

- 『興福寺本大慈恩寺三蔵法師伝古点』『神田本白氏文集卷第三・四』『高山寺本古往来』
【今昔物語集】
『今昔物語集』
【軍記物語】
『保元物語』『平治物語』『平家物語』

以下は、作品または作品群毎の語彙表

【中古散文作品】

「中古散文作品における形容動詞対照語彙表」『大阪国際女子大学紀要』26-2 [2001・3]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】

「古代語形容詞の語構成」『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]

「古代語形容詞逆引き対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-1 [2002・10]

【訓点資料】

「訓点資料の形容詞の語構成」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』17-1 [2003・10]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】

『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』[2005・11 和泉書院]

【今昔物語集】

「今昔物語集の形容動詞対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』18-2 [2005・1]

「今昔物語集の形容詞対照語彙表—天竺・震旦部—」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』22-3 [2009・3]

「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝仏法部—」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-1 [2009・10]

「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝世俗部—」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]

【軍記物語】

「軍記物語の形容動詞対照語彙表」『帝塚山学院大学日本文学研究』38 [2007・2]

「軍記物語の形容詞対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】【今昔物語集】【軍記物語】

「改訂・増補 古代語形容詞の語構成—上代～中世編—」『帝塚山学院大学日本文学研究』41 [2010・2]

「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表—上代～中世編—（前編）」大阪国際大学紀要国際研究論叢』24-3 [2011・3]

「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表—上代～中世編—（後編）」大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-1 [2011・10]

「『形容詞対照語彙表』補遺」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]

注2 これまでの研究成果を、対象とした作品群毎に示す。

【上代資料】

「上代形容詞の語構成」『国語語彙史の研究』20 [2001・3 和泉書院]

【八代集】

「八代集の形容詞—語構成論的考察—」『帝塚山学院大学日本文学研究』32 [2001・2]

「八代集の形容詞—語彙の計量的分析—」『甲南国文』48 [2001・3]

【中古散文作品】

「ゲナリ型形容動詞—造語力拡大の様相について—」『国語語彙史の研究』18 [1999・3 和泉書院]

「平安時代の形容動詞—ゲナリと～カナリ—」『国語学』52-1 [2001・3]

「中古散文の形容詞—語彙の数量的分析—」『表現研究』74 [2001・10]

「古代語形容詞の造語形式—中古散文の形容詞を中心に—」『帝塚山学院大学日本文学研究』33 [2002・2]

「中古散文22作品の類似度の測定」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-1 [2007・10]

狂言の形容詞

- 「中古散文22作品の分類についての一試み」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-3 [2010・3]
- 【八代集】【中古散文作品】
- 「中古形容詞における特有語の性格」『帝塚山学院大学日本文学研究』36 [2005・2]
- 【上代資料】【八代集】【中古散文作品】
- 「語構造から見た古代語形容詞一二つの系列一」『帝塚山学院大学日本文学研究』34 [2003・2]
- 「古代語形容詞の語構造分析についての一考察」『国語語彙史の研究』22 [2003・3 和泉書院]
- 「古代語形容詞の階層構造」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-2 [2003・3]
- 「上代形容詞の継承性と中古新出の形容詞」『滋賀大國文』41 [2003・7]
- 「形容詞・形容動詞語彙の量的構成—中古散文作品を中心に—」『日本語学』25-5 [2006・4]
- 「形容詞の生産性に関する一考察」『表現研究』86 [2007・10]
- 「ク活用形容詞とシク活用形容詞の量的性格と語構成」『国語語彙史の研究』28 [2011・3 和泉書院]
- 【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】
- 「訓点資料の形容詞—語彙の量的性格—」『帝塚山学院大学日本文学研究』35 [2004・2]
- 「中古形容詞の量的性格—既存の形容詞と新出の形容詞—」『滋賀大國文』42 [2004・7]
- 「形容詞・形容動詞の語彙論的研究」[2005・11 和泉書院]
- 【今昔物語集】
- 「今昔物語集の形容動詞—語種からの分析を中心に—」『国語語彙史の研究』24 [2005・3 和泉書院]
- 「今昔物語集の形容動詞—ゲナリと〜カナリ（一）—」『滋賀大國文』43 [2005・7]
- 「今昔物語集のカナリ型形容動詞」『帝塚山学院大学日本文学研究』37 [2006・2]
- 【軍記物語】
- 「軍記物語の形容動詞の一考察」『国語語彙史の研究』26 [2007・3 和泉書院]
- 「軍記物語の形容詞についての一考察」『国語語彙史の研究』28 [2009・3 和泉書院]
- 注3
- 「『時代別国語大辞典 室町時代編』の形容詞」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-2 [2012・1]
- 「『邦訳 日葡辞書』の形容詞」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』26-1 [2012・10]
- 注4 内山弘編 [1998 笠間書院]
- 注5 [1982-1989 武蔵野書院]
- 注6 [1972-1983 表現社]
- 注7 川瀬一馬校訂転載、松村明編・福島邦道補訂 [1961 三省堂]
- 注8 [2005 勉誠社]
- 注9 小林賢次・北原保雄 [1991 勉誠社]
- 注10 北原保雄・大倉浩 [1983 勉誠社]

国際研究論叢

狂言 形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
1		○	○	○	○	○	○	○	あかし	赤	ク		11		4	2
2	○		○	○	○	○	○	○	あかし	明	ク		1		3	
3	○	○	○	○	○	○	○	○	あさし	浅	ク		4		2	1
4			○	○	○	○	○	○	あさまし	浅	シク	1	10		2	
5	○		○	○	○	○	○	○	あし	悪	シク		22	2	2	6
6								○	あだなし	徒	ク		1		1	
7		○	○	○	○	○	○	○	あたらし	新	シク		4		4	
8									あたりちかし	辺近	ク		1			
9			○	○	○	○		○	あぢきなし	味気無	ク		7		6	
10	○	○	○	○	○	○	○	○	あつし	厚・敦	ク		2			
11	○	○	○	○	○	○	○	○	あつし	暑・熱	ク		7		5	4
12							○	○	あどなし		ク					1
13									あはれみなし	哀無	ク		1			
14		○	○	○		○			あひがたし	逢難	ク		1		2	
15					○		○	○	あぶなし	危	ク		17		13	6
16		○		○			○	○	あまし	甘	ク		2		1	7
17	○	○	○	○	○	○	○	○	あまねし	遍・普	ク					1
18	○	○	○	○	○	○	○	○	あやし	靈異・奇・怪	シク					1
19		○	○	○	○	○		○	あやふし	危	ク	1	1		1	
20								○	あらくまし	荒	シク		1			
21					○		○	○	あらかなし	荒気	ク		4		1	
22	○	○	○	○	○	○	○	○	あらし	荒・疎	ク		2		1	2
23			○					○	あらし	荒	シク				3	
24	○		○	○	○	○	○	○	ありがたし	有難	ク		52	4	44	5
25									ありきにくし	歩難	ク		2			
26				○					ありにくし	有難	ク		1			
27	○	○		○	○			○	あをし	青	ク	2	5		4	1
28	○			○			○	○	いかし	巖	シク		47	4	33	52
29				○	○	○		○	いかめし	巖	シク		3		1	
30					○		○	○	いし	美	シク		1			
31			○			○	○	○	いそがし	忙	シク		10		3	
32		○			○				いそがはし	忙	シク		5		3	
33								○	いそくさし	磯臭	ク		1			
34	○	○	○	○	○	○	○	○	いたし	痛・甚	ク		44	2	24	2
35									いたしにくし	致難	ク				1	
36	○	○		○	○			○	いたはし	勞	シク		11		6	1
37									いでなし	出無	ク		1			
38				○				○	いとし	愛	シク		11		10	1
39	○		○	○	○	○		○	いとほし	勞・愛	シク	2	7			1
40									いひごとなし	言事無	ク		1			
41				○				○	いひにくし	言難	ク				1	
42				○					いひよし	言良	ク		1			
43				○	○	○	○	○	いまいまし	忌忌	シク		1		3	
44					○			○	いまはし	忌	シク		1			1
45				○	○	○	○	○	いまめかし	今	シク		4	1	3	1
46				○	○	○		○	いみじ		シク		1			
47	○	○	○	○	○	○	○	○	いやし	賤・卑	シク		8	1	7	1
48							○	○	いらいらし	苛苛	シク		1		1	
49		○	○	○		○			いりがたし	入難	ク				1	
50								○	いろいろし	色色	シク		1		1	
51	○		○	○	○	○	○	○	うし	憂	ク	2	8		5	5
52	○	○	○	○	○	○	○	○	うすし	薄	ク		4		1	
53				○	○	○			うたがひなし	疑無	ク		1		1	
54				○	○		○	○	うたてし	憂	ク	1	1		3	
55									うちたてにくし	打立難	ク				1	
56	○		○	○	○	○	○	○	うつくし	愛・美	シク		34	1	26	
57									うっそらにくし	打空難	ク				1	
58								○	うつつなし	現無	ク		6			
59								○	うつつらにくし	打憎	ク		1			
60		○	○	○	○	○	○	○	うとし	疎	ク				1	

狂言の形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
61			○	○	○	○	○	○	うとまし	疎	シク				1	1
62	○					○	○	○	うまし	旨・甘・美・味	ク		22	2	1	8
63	○		○	○				○	うらがなし	心悲	シク					1
64			○	○		○		○	うらさびし	心寂	シク	1				
65	○		○	○	○		○	○	うらめし	恨・悵	シク	1	3		6	1
66			○	○	○	○	○	○	うらやまし	羨	シク		1		1	
67				○		○	○	○	うるさし		ク	4	11			
68	○	○		○	○	○		○	うるはし	麗・美	シク		3			
69	○		○	○	○	○	○	○	うれし	嬉・歡	シク	2	114	11	48	30
70								○	うれしがなし	嬉悲	シク		1			6
71	○							○	えし	宜・吉・善	ク					9
72									おくりにくし	送憎	ク		1			
73	○	○	○	○	○	○	○	○	おそし	遅・鈍	ク	8	43	6	27	7
74								○	おそれがまし	恐・畏	シク		2			
75				○	○	○	○	○	おそろし	恐	シク		40	3	40	7
76					○		○	○	おとなげなし	大人気無	ク		4		2	
77				○			○	○	おとなし	大人	ク		1	1	2	
78	○	○	○	○	○	○		○	おなじ	同	シク	4	88		104	
79				○	○	○		○	おびたし	夥	シク		43	4	12	4
80									おぼえにくし		ク		1			
81								○	おほきし	大	ク	2	4		28	1
82	○	○	○	○	○	○		○	おほし	多・大	ク	1	56	5	40	8
83				○	○	○	○	○	おぼし	思	シク		3		1	
84	○	○	○	○	○	○	○	○	おもし	重	ク		19	10	13	1
85	○		○	○	○	○	○	○	おもしろし	面白	ク	7	83	6	111	6
86								○	おもしろをかし	面白	シク		6		1	
87				○			○	○	おもたし	重	ク		1			
88				○		○		○	おもなし	面無	ク		1			
89			○	○	○	○		○	おもはし	思	シク				1	
90				○	○				およびがたし	及難	ク		1			
91		○		○	○	○		○	かうばし	香	シク		2			
92		○	○	○	○	○		○	かぎりなし	限無	ク		3			
93									かくしがひなし	隠甲斐無	ク		1			
94	○			○				○	かぐはし	香	シク				1	
95			○	○	○	○		○	かくれなし	隠無	ク		8	1		8
96	○	○	○	○	○	○	○	○	かしこし	恐・畏・賢	ク	1	4	1	5	4
97				○			○	○	かしまし	囂	シク		14		11	
98									かしらかたし	頭固	ク		1			
99									かずわろし	数悪	ク		1			
100				○				○	かたくなし	頑・癡	シク				2	
101	○	○	○	○	○	○	○	○	かたし	固・堅	ク		15	3	1	3
102	○	○		○	○	○	○	○	かたじけなし	辱・忝	ク	1	174	6	130	25
103				○	○	○	○	○	かたはらいたし	傍痛	ク		1			
104									がってんなし	合点無	ク		1			
105							○	○	かなくさし	金臭	ク	1				
106	○	○	○	○	○	○	○	○	かなし	悲・哀・愛	シク	3	44	8	23	16
107				○	○	○			かなひがたし	適難	ク		1			
108				○		○		○	かはゆし		ク		13		6	4
109				○	○			○	かひがひし	甲斐甲斐	シク		2			
110								○	かひだるし	腕弛	ク				1	
111									かへりなし	帰無	ク		1		1	
112									かみくさし	神臭	ク					1
113	○		○	○	○	○	○	○	からし	辛・鹹・酷	ク	1	6		3	2
114	○			○	○		○	○	かるし	軽	ク		9		5	2
115		○		○	○	○	○	○	かるし	軽	ク		1			
116				○					きえやすし	消易	ク				2	
117									きぎなし	聞無	ク		1			
118				○		○	○	○	きぎにくし	聞難	ク				4	
119	○		○	○	○	○		○	きたなし	汚穢・濁・穢	ク					1
120							○	○	きつし		ク		19	2	21	3
121								○	きはどし	際疾	ク	1				

国際研究論叢

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
122							○		ぎょうぎょうし	仰仰	シク				3	
123									きよくなし	曲無	ク					3
124	○	○	○	○	○	○	○	○	きよし	清	ク		1			
125		○	○	○	○	○	○	○	くさし	臭	ク		1		1	
126	○			○	○			○	くさぶかし	草深	ク			1		
127	○								くし	奇	シク	1				
128				○	○			○	くちをし	口惜	シク	1	9	2	3	2
129							○	○	くどし		ク		4		3	
130	○	○		○	○	○		○	くはし	妙・細・詳	シク	2	10		2	1
131					○		○	○	くぼし	窪	ク	1			1	
132			○	○					くもりなし	曇無	ク		1			
133	○		○	○	○	○	○	○	くやし	悔	シク		5		4	
134	○	○	○	○	○	○	○	○	くらし	暗	ク	1	5		4	2
135									くらはじなし	食	ク		1			
136	○	○	○	○	○	○	○	○	くるし	苦	シク		94	2	41	15
137	○	○	○	○	○	○	○	○	くろし	黒	ク	3	19		18	9
138									げげくさし	下々臭	ク				1	
139				○	○				けだいなし	懈怠無	ク		1			
140				○	○	○			けだかし	気高	ク		3		4	
141							○	○	けなりし	異	ク		7		6	1
142		○		○	○	○		○	けはし	陰	シク		2			2
143				○	○	○		○	けぶかし	毛深	ク		1			
144				○	○	○	○	○	こころうし	心憂	ク		1		1	
145								○	こころおもしろし	心面白			1			
146				○	○	○	○	○	こころにくし	心憎	ク		8		1	1
147			○	○	○	○	○	○	こころぼそし	心細	ク	1				
148			○	○	○	○	○	○	こころもとなし	心許無	ク	1	9		5	
149			○	○	○	○	○	○	こころやすし	心安	ク		30	2	34	2
150		○		○	○	○	○	○	こころよし	快	ク				1	
151							○	○	こざかし	小賢	シク	1			1	
152									ござりにくし	御座難	ク				1	
153			○	○	○	○	○	○	こし	濃	ク		1		1	
154								○	こすし	狡	ク		1			
155								○	ことおほし	事多	ク		1			
156									ことくどし	事詳	ク				1	
157									ことくはし	事委	ク				1	
158			○	○		○			ことごとし	事事	シク		3		1	
159								○	ことむつかし	事難	シク		1			1
160	○	○		○	○			○	こはし	強	ク		39		8	8
161	○		○	○	○	○		○	こひし	恋	シク	4	15		20	8
162								○	こむつかし	小難	シク		1		2	
163				○	○				さうざうし		シク			1		
164								○	さかくさし	酒臭	ク				1	
165	○	○		○	○	○	○	○	さかし	賢	シク		1			
166							○	○	さくし		ク		1			
167									さしよし		ク		1			
168								○	さたなし	沙汰無	ク				1	
169			○	○	○	○	○	○	さだめなし	定無	ク				2	
170	○		○	○	○		○	○	さびし	寂・淋	シク	2	13		20	7
171	○							○	さぶし	寂・淋	シク					1
172	○	○	○	○	○	○	○	○	さむし	寒	ク	6	19		21	1
173								○	さもし	様悪	シク				3	
174									さもなし		ク		1			
175				○	○	○	○	○	さがたし	去難・避難	ク		1			
176								○	ざれことぶかし	戲言深	ク		2			
177			○	○	○	○	○	○	さわがし	騒	シク		1		2	
178									さんじやすし	散易	ク		1			
179	○	○	○	○	○	○	○	○	しげし	繁・茂	ク	1	4		3	
180								○	しげなし		ク		1		2	
181									しさいなし	子細無	ク		1			
182		○		○	○	○	○	○	したし	親	シク					1

狂言の形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
183									しつけらし	仕付	シク				1	
184							○	○	しつこし		ク		1		1	
185				○			○	○	しにくし	為難	ク		1			
186									じひふかし	慈悲深	ク					1
187	○	○					○	○	しぶし	決	ク		10			1
188									しぶしんふかし	執心深	ク		1			3
189									しほなし		ク		1			
190									しほらし	萎	シク		1		6	2
191									じゃうごはし	情強	ク		1			
192								○	しゃうだいなし	正体無	ク		2			1
193								○	しゃうらかし	性	ク		2			
194									じゅくしくさし	熟柿臭	ク		1			
195		○		○	○	○			しりがたし	知難	ク		1			
196									しりなし	知無	ク		1		1	
197	○	○	○	○	○	○	○	○	しろし	白	ク	2	10		9	1
198							○	○	しわし	吝	ク		4		1	
199									しんかうなし	信仰無	ク				1	
200				○		○			すぎがたし	過難	ク				1	
201	○	○	○	○	○	○	○	○	すくなし	少	ク		5		6	
202			○	○	○		○	○	すごし	凄	ク		1			
203		○	○				○	○	すし	酸	ク	1	3		4	
204	○	○	○	○	○	○	○	○	すずし	冷・涼	シク		3		4	3
205					○		○	○	すずどし	鋭	ク		1			
206								○	すぢなし	筋無	ク		1			
207							○		ずなし	凶無	ク		1			
208							○	○	すねし	拗	ク		1			
209			○	○					すみがたし	住難・澄難	ク		1			
210			○	○	○			○	すみよし	住良	ク		1			1
211			○	○	○	○			するかたなし	為方無	ク	1			1	
212								○	せはし	忙	シク		5		5	
213	○	○	○	○	○	○	○	○	せばし	狭	ク		3		2	2
214								○	せはしなし	忙	ク				2	1
215								○	せはせはし	忙忙	シク		0			
216					○	○			ぜひなし	是非無	ク		3			
217									ぞんじなし	存知無	ク		10		2	
218									だいじなし	大事無	ク		4		5	
219	○	○	○	○	○	○	○	○	たかし	高	ク	3	20	1	13	8
220			○	○		○			たぐひなし	類無	ク		2	1	2	1
221		○			○		○	○	たくまし	快・遅	シク		2			
222	○		○	○	○	○	○	○	たけし	武・猛	ク		2		2	
223		○		○	○	○	○	○	ただし	正	シク		13	2		
224									たづねなし	尋無	ク				1	
225	○	○	○	○	○	○	○	○	たのし	楽	シク		20		15	
226	○	○	○	○	○	○	○	○	たのもし	頼	シク		5		1	
227	○	○		○	○	○			たふどし	貴・尊	ク	2	9	1	9	15
228		○		○	○	○		○	たへがたし	堪難	ク	1	3		3	
229	○	○		○	○	○	○	○	たやすし	賑・容易	ク		1			
230			○	○		○	○	○	たゆみなし	弛無	ク		1			
231									たらしよし	誑良	ク		8			
232							○		だるし	弛	ク				2	
233									たをやし	嬾	ク		1		1	
234									だんなし	大事無	ク					1
235	○	○	○	○	○	○	○	○	ちかし	近	ク	1	15	2	24	1
236	○	○		○	○	○		○	ちひさし	小	ク		13		18	
237				○		○			つかひよし	使良	ク		1		1	
238									つかまつりよし	仕良	ク		1			
239			○	○		○	○	○	つきなし	付無	ク				2	
240	○	○	○	○	○	○	○	○	つたなし	怯・拙	ク		1			
241							○	○	つばし	壺	ク		1			
242				○	○	○	○	○	つめたし	冷	ク		2		2	
243	○	○	○	○	○	○	○	○	つよし	強	ク		15		23	

国際研究論叢

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
244	○		○	○	○	○	○	○	つらし	辛	ク	1	4		2	
245								○	つらくし	面憎	ク	1	5		3	
246			○	○	○	○	○	○	つれなし	無情	ク	1	3		4	
247					○			○	てごはし	手強	ク		2			
248							○	○	てむさし	手	ク		1			
249									どうかんなし	等閑無	ク		14			1
250				○					ときよし	時吉	ク		1			
251								○	とごまがまし	外様	シク		5			
252	○	○	○	○	○	○	○	○	とし	利・敏・疾	ク		55		16	5
253									とびにくし	飛難	ク				1	
254	○	○	○	○	○	○	○	○	とほし	遠	ク		16	3	12	
255	○			○				○	とほとほし	遠遠	シク		2			
256						○			とほりがたし	通難	ク		1			
257	○	○		○	○	○	○	○	ともし	乏	シク		3	1	1	
258									とりにくし	取難	ク		3			
259									とりよし	取良	ク		2			
260	○	○	○	○	○	○	○	○	ながし	長	ク	2	29	1	15	7
261					○			○	なごりをし	名残惜	シク	5	16		17	3
262				○	○	○	○	○	なさけなし	情無	ク		9		3	3
263	○	○	○	○	○	○	○	○	なし	無	ク	33	900	25	527	138
264									なしにくし	為難	ク				1	
265			○	○				○	なだかし	名高	ク		2			
266	○		○	○	○		○	○	なつかし	懐	シク		9		4	
267			○	○	○				なにとなし	何無	ク		1		10	
268									なぶじゅうなし	納受無	ク		2			
269									なぶりよし	鬪良	ク		1			
270		○			○	○	○	○	なまぐさし	生臭	ク				2	
271							○	○	なまぬるし	生温	ク		2			
272				○				○	なみだもろし	涙脆	ク		3	1	1	
273		○		○	○	○			ならびなし	並無・双無	ク		1		2	
274		○		○		○			なりがたし	成難	ク		4		1	
275									なりにくし	成難	ク				1	1
276									なりよし	成良	ク				1	
277							○		なんでもなし	何無	ク				8	8
278									なんともなし	何無	ク				1	
279				○		○			なんなし	難無	ク		1			1
280								○	にあはし	似合	シク		3		11	3
281						○	○	○	にがし	苦	ク	1	1		3	2
282					○		○	○	にがにがし	苦苦	シク		33	1	10	
283	○		○	○	○	○	○	○	にくし	憎	ク	1	100	6	65	19
284									にくにくし	憎憎	ク				1	
285									にんげんちかし	人間近	ク		1			
286	○		○	○			○	○	ぬるし	温	ク		1		6	
287								○	ねだりがまし		シク		1			
288									ねだりくさし		ク		1			
289									ねにくし	寝難	ク				1	
290							○	○	ねばし	粘	ク		3		1	
291			○	○	○				ねぶたし	眠	ク					1
292							○	○	ねむし	眠	ク				3	
293									ねりなし	練無	ク				1	
294				○				○	ねんなし	念無	ク		2			14
295									のうなし	能無	ク				1	
296			○	○				○	のこりおほし	残多	ク		4		4	
297			○	○		○		○	のこりなし	残無	ク		1			
298		○							のべがたし	述難	ク				1	
299									のぼりなし	上無	ク				1	
300						○			ぼうじがたし	忘難	ク		1			
301			○	○	○	○	○	○	はかなし	果無・果敢無	ク		7		4	
302				○	○	○	○	○	はかばかし		シク		0			
303		○	○	○	○	○	○	○	はげし	激・烈	シク		1		2	1
304							○	○	はしかし	芒	ク		1			

狂言の形容詞

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
305				○	○	○	○	○	はしたなし	端	ク		2		1	
306	○		○	○	○	○		○	はづかし	恥	シク		39		28	10
307		○		○	○			○	はなはだし	甚	シク		1			
308			○	○					はなれがたし	離難	ク	1	2		1	
309									はなれやすし	離易	ク		1		1	
310									はひりにくし	入難	ク		1			
311	○	○	○	○	○	○		○	はやし	早・速	ク		140	13	75	35
312		○							はれがたし	晴難	ク	1				
313				○				○	はれがまし	晴	シク		2			
314					○	○		○	ひきし	低	ク		5		5	
315	○	○	○	○	○	○		○	ひさし	久	シク	1	65	1	62	8
316								○	ひだるし		ク	1	3			1
317								○	ひとおそろし	人恐	シク		1			
318									ひとおほし	人多	ク		2			
319								○	ひとがまし	人	シク		1			
320									ひとくさし	人臭	ク		5		1	
321									ひとこほし	人強	ク		2			
322		○	○	○		○		○	ひとし	等・齊	シク		1			
323				○				○	ひとちかし	人近	ク				4	
324								○	ひとどほし	人遠	ク		6		1	
325			○	○	○	○			ひまなし	隙無・暇無	ク		1			
326	○	○	○	○	○	○		○	ひろし	広	ク	2	14		14	1
327					○			○	ひわかし	若	ク		1			
328	○	○	○	○	○	○		○	ふかし	深	ク	7	39	4	27	9
329									ふかし	深	シク		12			
330								○	ふがひなし	肺甲斐無	ク		2			
331									ふちたかし	縁高	ク				1	
332	○	○		○	○	○		○	ふとし	太	ク		4		2	
333	○	○	○	○	○	○		○	ふるし	古・旧	ク		6		6	6
334								○	ふんべつらし	分別	シク		2			
335								○	へんなし	篇無	ク		1		1	
336				○	○	○		○	ほいなし	本意無	ク					1
337	○		○	○	○	○		○	ほし	欲	シク	4	32	1	28	11
338	○	○		○		○		○	ほそし	細	ク	1	7		9	1
339									ほぞたへがたし	臍堪難	ク		2		1	
340								○	ほどけくさし	仏臭	ク					1
341				○	○				ほどちかし	程近	ク		3			
342				○					ほどとほし	程遠	ク		2		1	3
343		○	○	○	○	○		○	ほどなし	程無	ク		24	1	7	21
344									まうけがたし	設難	ク				1	
345									まうけやすし	設易	ク		1			
346				○					まうしにくし	申難	ク		1			
347				○	○			○	まことし	実	シク		5			
348								○	まことらし	実	シク			1		
349				○	○			○	まさなし	正無	ク		1			
350	○	○		○	○	○		○	またし	全・完	ク		2			1
351									まつやにくさし	松脂臭	ク		2		2	
352								○	まるし	丸	ク		1		1	
353				○					まゐりにくし	參難	ク					1
354									みえなし	見無	ク		1			
355				○	○	○		○	みぐるし	見苦	シク	1	14		7	2
356	○	○	○	○	○	○		○	みじかし	短	ク		9		4	1
357								○	みたくなし	見無	ク		1		1	
358								○	みづくさし	水	ク		1			1
359									みづらし	見辛	ク					1
360								○	むげなし	無下	ク					1
361								○	むごし	惨・酷	ク		5			1
362								○	むさし		ク		9		4	4
363				○		○		○	むつかし	難	シク		20		13	1
364	○	○	○	○	○	○		○	むつまし	親・睦	シク		1			
365	○	○	○	○	○	○		○	むなし	空・虚	シク		12		3	

国際研究論叢

NO.	上代	訓点	八代	中古	軍記	今昔	日葡	時代別	見出し語	漢字	活用	天正本	虎明本	虎清本	狂言六義	狂言記
366									むまくさし	旨	ク					2
367								○	めぢかし	目近	ク				1	
368	○		○	○	○	○		○	めづらし	珍	シク	1	63		20	1
369			○	○	○	○		○	めでたし	愛	ク	21	166		174	19
370					○			○	めはづかし	目恥	シク		2		1	
371			○	○					めんぼくなし	面目無	ク		2		2	
372									もちよし	持良	ク		1			
373							○		もったいなし	勿体	ク		6		6	1
374			○	○	○	○	○	○	ものうし	物憂	ク		4		2	1
375							○	○	ものすごし	物凄	ク		1			
376									ものせはしなし	物忙	ク				1	
377									ものほし	物欲	ク					2
378								○	ものみだけし	物見猛	ク		3			
379				○			○	○	ものものし	物物	シク		3		4	
380	○		○	○	○		○	○	もろし	脆	ク	1				
381								○	やうがまし	様	シク		1			
382	○		○	○	○	○	○	○	やさし	恥・優	シク		25		13	2
383	○	○	○	○	○	○	○	○	やすし	安・易	ク	2	67	2	35	7
384		○		○	○	○	○	○	やむごとなし	止事無	ク		1		1	
385								○	やるせなし	遣瀬無	ク					1
386			○	○	○	○	○	○	ゆかし		シク		5		3	
387									ゆきがたし	行難	ク		1			
388									ゆぎにくし	行難	ク		1			
389	○		○	○	○	○	○	○	ゆゆし	齷忌・忌	シク		1			
390	○	○	○	○	○	○	○	○	よし	良・好・善	ク	9	900	47	566	187
391		○		○	○	○	○	○	よしなし	由無	ク	3	4	2	2	1
392				○				○	よそよそし	余所余所	シク				1	1
393									よびよし	呼良	ク		1			
394			○	○	○	○	○	○	よぶかし	夜深	ク	2	1			
395	○		○	○	○	○	○	○	よわし	弱	ク	1	10		5	
396	○	○	○	○	○	○	○	○	わかし	若	ク	2	38	17	10	8
397									わけがたし	分難	ク	2				
398			○	○					わすれがたし	忘難	ク	1				
399				○	○		○	○	わるし	悪	ク	5	108	2	105	17
400		○		○	○	○	○	○	わろし	悪	ク		4		2	
401								○	わわし	騒	シク		3			
402				○	○	○			をかし	可笑・可笑	シク	4	45	1	30	17
403				○	○	○		○	をさなし	幼	ク		7		3	1
404	○	○	○	○	○	○		○	をし	惜・愛	シク	1	11	1	19	7
405									をりがたし	居難	ク	1				